



大阪維新の会 富田林市議会議員

いとう寛光

【2018年3月議会が終わりました！】

今年もあっという間に3ヶ月が過ぎようとしています。私の任期は残すところあと1年。皆さまに「選んで良かった！」と心から思っただけのよう、全力を尽くします。

■3月7日の一般質問より。（一部抜粋・要約）■

1、制服や学用品等のリユースを促進すべき。

・就学に掛かる保護者の負担を軽減するため、実態調査と市の積極的に関与することを要望しました。

2、不登校児童・生徒等に、直接的な支援を届けるべき。

・民間の力を活用し、学校の先生やスクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー等の手足となって動ける人材を確保、活用する仕組みを作るよう要望しました。学校内で解決しようとするのは、皆にとって不幸です。

3、人事評価の結果を給与等に活用すべき。

・今は活用していないため、地方公務員法違反の状態。訴訟リスクがあることを指摘して対応を求めました。

■3月19日～20日の予算決算常任委員会より。■

1、スクラップ&ビルドができていないことを指摘。

・財源には限りがあります。無駄な事業を廃止し、新たな社会問題等に対応する財源を生み出すためにも、事務事業評価を活用し、PDCAサイクルを回すように要望。

2、既存施設を有効活用し、使用料収入等を増やすべき。

・施設は使おうが使うまいが、維持費などがかかるため、使わなければもったいない。利用者を増やす努力や、使用料収入等を増やす方法を検討するよう要望しました。

3、議員共済負担金（5,058万円）について。

・議員年金は2011年に廃止されましたが、既存の受給者への支給は続いています。ある試算によると今後約50年間、各市町村合わせると1兆1400億円もの負担となること。財源は、ほぼ全額公費（皆さまが払っている税金）です。

4、補助金の在り方について。

・市民に対して説明の付かない、不透明な補助金は廃止すべき。また、市が責任を持って、補助対象団体等にヒアリングを行い、過不足ない金額を設定するよう要望。

5、個人給付の在り方について。

・特に見舞金などの個人給付は、抜本的に見直すべき。支給のための労力（人件費）が掛かることも考慮し、より効果的な事業に資源を集中させるべきです。

※ご意見・ご感想等、「いとう寛光事務所」までお願いします。

TEL : 0721-40-1313 E-mail : hiromitsu.ishin@gmail.com